

ここが聞きたい！
いっぱん

質問

様々な財源確保策があるが 敏感な対応を

内田雅人 議員

町長 適切な対応をしていきたい



問 町としていかに財源確保するかが大きなポイントだが、まず拡充されたふるさと納税のさらなるアップ策を問う。

答 寄付金の増加策は地域の魅力の特産品等のお礼の品により情報発信し、奥出雲町に興味を持ってもらうことが効果的だ。

問 提案したいのは、ひとつは高額寄付を増やす仕掛けだ。30万円以上50万円以上の寄付対象の特産品メニュー作りは可能だ。もうひとつはガバメントクラウドファンディング。寄付したお金がどう使われるか、という観点はおろそかにできない。町がプロジェクトオーナーとなり、具体的な寄付金の使用目的を示し

て応援を募ることは、**答** 現在寄付のほとんどが1万円以下だ。今後検討する。

問 企業版ふるさと納税が早ければ来年度から始まる。企業としては法人税法上のメリットとイメージアップ戦略にすることも可能であり、見逃せないところだ。早く動けることが大事だが町の姿勢と準備は、**答** たたらの景観の維持活用等の事業を対象に検討を進める。制度の詳細が判明した段階で適切な対応をしたい。

問 住民参加型市場公募債の活用は、資金調達と行政参加意識の高揚、住民への施策のPRといったメリットがあるが、費用対効果からいって検討に値するか。**答** メリットも多く素晴らしい取り組みだと認識しているが、本町の規模では効果は低いと考える。

問 公的ネットオークションの可能性は、不要となった町有財産の売却、

町税等の徴収率アップを図る手立てとして考えられるが、**答** 町税の差し押さえ物件の公的ネットオークションについては実施しており、公売が成立したものは税に充当している。町有財産の売却については今後検討する。

問 この他に考えられる新たな財源確保策は、**答** 小水力発電施設の運営による売電収入の確保、また太陽光発電事業の計画を進めている。クラウドファンディングも今後進めていきたい。総合戦略に基づいて事業を進め、個人法人両面から収税確保していく。

問 大事なものは事業をやることではなくて目的を達成することだ。そのためそのための予算確保を、**答** 総合戦略遂行のため、今は全町の

な機運の高まりが必要だが、具体的な町民の意識アップ策は、**答** 広報での紹介、ホームページでの公表、そして概要版を全戸配布する。町政座談会でも説明をしたところで、継続的な取り組みを検討している。

問 総合戦略に掲げられた理念はいいが、住民への浸透を考えると、長く覚えてるのは難しい。海士町や雲南広域連合のように、ワンフレーズの覚えやすいキャッチコピーがあったほうがいいのではないか。町外への発信効果もある。

答 「本物の幸せを実感する希望の地」が総合戦略の基本理念を表したキャッチコピーだ。



住民への浸透、機運の高まりが必要